令和６年度　　園の自己評価

認定 けいこうこども園

保育理念	幼児期は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、法に規定する目的を達成するため、 乳幼児期の特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含め園児の生活全体が豊かなものとなるように努める。
保育目標	・健康で心も体もたくましい子　　・仲間を大切にするやさしい子　　・遊びの中でこどもの自主性を育てる

中　期　目　標	本　年　度　の　重　点　目　標
園児　：　安心・安全な環境の中で様々なことによい刺激を受けながら心と体を動かし、自尊感情（愛されている安心・自信）を育み、自己肯定感を高める。 職員　：　自己研鑽に努め、常に自分を高め、組織を高めていける職員集団の育成を目指す。 園　：　地域に認められ、保護者に信頼されるこども園を目指す。	（１）子ども主体の保育の提供（子どもの人権に立脚） （２）保育環境の配慮 （３）職員の資質向上 （４）地域における子育て支援の実践・小学校との連携強化 （５）新型コロナウイルス・インフルエンザ等に対する衛生管理の徹底・各クラスとの連携

自己評価（保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価）の３領域

領域	評価の観点	評　価　項　目	達成状況	今　年　度　の　状　況
保育の計画	（１）保育課程の編成	保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A	こども主体の保育、こどもの視点を常に意識する事を意識するように、社会的責任に子どもの人権人格を尊重した保育の実践を据えた。また、積極的に研修会へ参加し、開催するなどして、保育を外部に開く事で透明性を高め、保育の質の向 上を図った。
	（２）指導計画の作成と展開	長期・短期計画の作成	B	長期的な計画は年間計画、月次計画によって見通しを持ち、短期的な計画は週・日案としている。子どもたちの生活の連続性と姿を考慮した計画の作成・展開を学んでいる。記録することで保育教諭自身の保育省察の機会となっているが、職員間の進級時の連携がうまく行かなかった。
		生活の連続性・子どもの姿を考慮	B	
	（３）発達過程に応じた保育	未満児の個別計画	B	３歳未満児の利用が非常に多く、個別計画にそった関わりが維持できづらかった。以上児では、みんなで取り組む課題や活動、異年齢交流を意識した。児童の様子や日々の教保育の意図等の説明を通じて、保護者との相互理解を図ることが必要である。。
		以上児への協同的な活動の促し	A	
	（４）特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	A	支援の必要な児には保育教諭を配置した。個別計画 を作成して、身辺自立促進と共に無理なく集団に入れるように配慮している。保護者や巡回指導、学校、支援センターなどとも 重層的に連携を取るように心がけている。支援内容の底上げ、入学前の連携入学してからの支援連携が課題である。
		子育て支援	A	
	（５）関係機関等との連携	関係校区小学校との連携	A	小学校との連携については、入学予定小学校との交流を図り、支援の必要な児童とは特に相互見学等学校との連携を密にした。 保護者・地域へは連絡帳や園便り、ＨＰ等を利用して園の情報を公開した。しかし、行事の実施日が重なったりして困ったこともあった。
		保護者・地域との連携	B	
健康及び安全	（１）子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	A	クラス担任と園医が連携しながら早期対応を心がけた。感染性の高いリスクのある疾病に対しては、市役所等の指導を受けながらまん延防止に努めた。
	（２）環境及び衛生管理・安全管理	設備・用具などの衛生管理	A	寒暖や湿度等を考慮し、また毎日の美化清掃を実施して快適な保育環境を提供した。アルコール使用し室内の消毒を毎日実施した。 毎月安全点検と避難訓練を実施して安心で安 全な園環境を心がけた。警報発令などの緊急時には、連絡網により迅速な対応に心がけた。
		安全点検・避難訓練等の実施	A	
	（３）食育の推進	食育計画の作成と実践並びに評価	A	三原市が実施する給食献立検討会に参加し、継続して食育計画を作成して計画的 に意識化、実践できるようにした。アレルギー対応食は保護者と連携を取りながら可能な限り個別対応を行っている。必要とする園児が年々増え、対応に苦慮している。（個別に名札で表示し間違いのないよう注意する。）
		アレルギーなどへの対応	A	
職員の資質向上	（１）園長の責務	法令順守・職員指導・研修への促し	B	法令については消防関係、福祉関係、学校関係、保健関係の各遵守を心がけた。毎日の朝礼や各会議などで適宜必要と思われる指導を心がけ、研修会には積極的に参加し、最新の情報収集に努めた。
	（２）自己研鑽	研修等への積極的な参加	A	自主的に研修を選び参加できる環境にしている。職員は計画的・積極的に 研修に参加し、その結果を報告し内容を共有いている。
	（３）目標管理	一年間の目標設定と振り返り	B	自己啓発目標を掲げてその達成度をみる ために中間面接及び年度末に再度面接と振り返りを行う。

達成状況　Ａ　優　　Ｂ　良　　Ｃ　可　　Ｄ　不可

以上のように報告いたします。

令和７年３月３１日

認定　けいこうこども園

園長　　岡　本　　孝　洋　　㊞